

平成 16 年度

コンピュータ・リテラシー演習

テキスト 2

日本語入力の方法

平成 16 年度後期、火曜日、3 講目

教官 浅川

asakawa@asa.hokkyodai.ac.jp

目次

第 2 講 日本語入力の方法	3
1. SIMPLE TEXT による日本語入力	3
1-1. SIMPLE TEXT の起動	3
1-2. ソフト、書類の検索方法	3
a. ランチャーの中を探す	3
b. 検索メニューによる検索	3
1-3. ローマ字かな漢字変換システム「ことえり」の設定	5
1-4. 文字入力の方法	6
1-5. キー操作の要点	8
a. 文字、文字列の削除	8
b. 特殊文字、記号の入力	8
c. 英文字の入力	9
2. ブラインドタイピング	10
2-1. ブラインドタイピングとはなにか	10
2-2. ブラインドタイピングの必要性	10
2-3. 練習ソフトウェアの機能と操作	10
2-4. 練習用のソフトウェアの実行	10

第2講 日本語入力の方法

1. Simple Text による日本語入力

SimpleText というエディターを用いて、日本語の文章入力のやり方を練習します。

1-1.SimpleText の起動

まず、下の様な SimpleText のアイコンをダブルクリックすると Simple Text が起動して、名称未設定と名前の付いた白紙のウィンドウが開きます。



その中の左上に縦棒が点滅しています。ここが、文字を入力する位置になります。これで、SimpleText が起動状態になります。

1-2. ソフト、書類の検索方法

でも、SimpleText のアイコンが何処にあるのかわからないことがあります。以下に、その様なときに SimpleText のある場所を探す方法を示します。

a. ランチャーの中を探す。

デスクトップに下のようなランチャーのアイコンがある場合は、それをクリックして、ランチャーを起動し、その中に登録されていないかどうか上記のアイコンを探します。

b. 検索メニューによる検索。

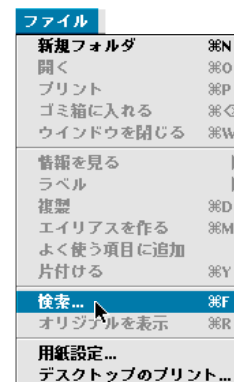
Finder の状態にして下さい。そのためにはデスクトップの背景の部分をクリックします。タイトルバーの右端に Finder のアイコンが示されます。



検索メニューがない場合は、もう一度メニューバーの右端を確認して下さい。上と別なアイコンが示

されているなら Finder 以外のソフトが使用状態になっています。もう一度、デスクトップの無地の部分をクリックします。

次にファイルメニューから検索を選択します。



開いたウィンドウの空欄に SimpleText と続けて入力しますが、入力の前に、メニューバーの右端の方を見て下さい。



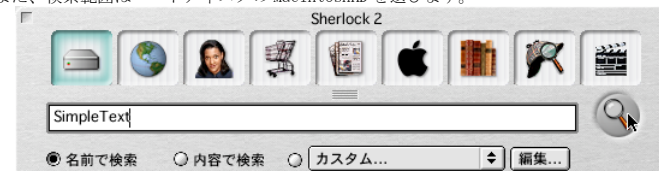
上記のどちらかになっています。右側の例のように星条旗が示されていたら、そのままにします。

左側の例のように、日の丸にアップルのマークが示されていたら、そのマークをクリックして、開くメニューの中から、「星条旗 US」を選びます。右側ようになります。

これで、英文字が入力できる状態になりました。

開いたウィンドウの空欄に SimpleText と続けて入力します。

また、検索範囲はハードディスクの MacintoshHD を選びます。



開いたウィンドウの空欄に英数キーをおしてから、SimpleText と入力し、検索ボタンをクリックします。

すると、次のような検索結果が表示されます。



その中の Simple Text アプリケーションをダブルクリックして起動します。

1-3. ローマ字かな漢字変換システム「ことえり」の設定

次は、キーボードからローマ字を入力して、それを「かな」に変換し、さらに漢字に変換するソフトである「ことえり」の設定をします。

メニューバーが下のようになっているでしょうか。

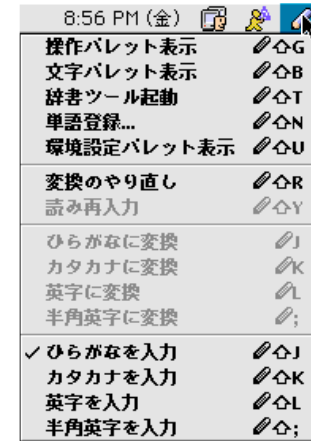


もし、右上の図のように星条旗が表示されていたら、星条旗をクリックして、ことえりを選択してください。或いはキーボードのカナキーを押して下さい。

また、画面の下の方につきのようなボックス(操作パレット)が見えるでしょうか。



もしこれが、見あたらない場合は、日の丸とリンゴのアイコンの隣の鉛筆マークをクリックして、操作パレット表示をクリックして下さい。



操作パレットは、上図の様に、「あ」が反転していることを確認して下さい。もし、そのボックスの「あ」が反転していなければ、「あ」をクリックして下さい。

この状態で、ローマ字ひらがな変換で入力ができます。

1-4. 文字入力の方法

まず、名称未設定ウィンドウの中をクリックして、ウィンドウをアクティブ(枠がはっきりした状態)にし、キーをうちます。現在、ローマ字仮名漢字変換状態になっています。

次のようにローマ字で入力します。

あしたのてんきはいせいでしよう。

ローマ字を打ち込むと自動的にひらがなが変わっていきます。

適当な長さの分節を打ち込んだ後、スペースバー(手前の長いキー)を一度押します。漢字仮名交じり文に変換されます。最初のうちはなるべく細かく文節単位に変換するといいです。

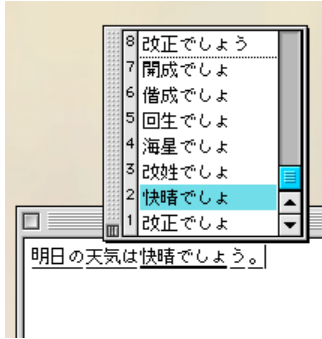
明日の天気は改正でしよう。

変換されると文に下線がついています。これは、文節として認識した部分を示していて、太い下線が現在の変換処理対象の範囲です。

上の例は、快晴とすべきところが改正に間違っ変換されています。このような場合、左右の矢印キーを押して、おかしい文節に太い下線を移動させます。

明日の天気は改正でしよう。

この状態でスペースバーを一度押します。すると候補が示されます。この中から正しいものをクリックします。



この例の場合は正しい漢字が選択されましたので return キーを押して決定します。以下のように確定されます。

明日の天気は快晴でしょう。

また、変な変換をした場合は文節の区切りが間違っていることが多いものです。次の文章をローマ字で入力して下さい。

まわるよじだいはまわる

スペースバー(手前の長いキー)を一度押すと以下のように変換されます。

回る余事代は回る。

太い下線が正しい場合は、左右の矢印キーを押して、おかしい文節に太い下線を移動させます。

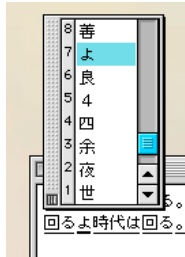
文節の区切りがおかしい場合は、Shift キーを押しながら、左右の矢印キーで、適切な文節区切りに

回る余事代は回る。

すると一応新たな変換がなされます。

回る世時代は回る。

しかし、この場合は、「世」を「よ」になおしたいので、スペースバーを一度押します。すると候補がでますので、「よ」をクリックして選択します。適当な候補が示されなかった場合は、候補ウィンドウの横の、スライドボックスをドラッグしたり、上下の矢印で他の候補を表示させます。



さいごに、すべての、文節で正しい変換がなされていることを確認したのち、return キーを押して、確定します。確定した文は下線が消えてしまいます。

回るよ時代は回る。

以上の操作をもとに、自由に文章を打ち込んでみて下さい。

1-5. キー操作の要点

a. 文字、文字列の削除

1. 間違った文字、文節を消したいとき、

delete キーを押します。

現在の挿入ポイントのすぐ左の文字を消去するためには、そのまま delete キーを押します。

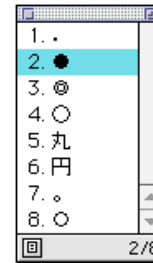
消したい文字のすぐ右側をクリックして挿入ポイントを移動させ、delete キーを押します。

文の一部を削除したいときは、マウスでドラッグして、消したい範囲を選択し、delete キーを押します。

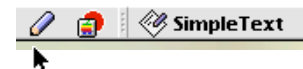
b. 特殊文字、記号の入力

辞書に登録されているかもしれないので、読みで入力してみてください。

例えば、まる と入力して スペースバーを2度押します。すると候補がでます。



これで、でてこない場合は、メニューバーの鉛筆マークをクリックして、「文字パレット表示」をクリックすると、文字パレットが現れます。



8:56 PM (金)	
操作パレット表示	⌘G
文字パレット表示	⌘B
辞書ツール起動	⌘T
単語登録...	⌘N
環境設定パレット表示	⌘U
変換のやり直し	⌘R
読み再入力	⌘Y
ひらがなに変換	⌘
カタカナに変換	⌘K
英字に変換	⌘L
半角英字に変換	⌘;
✓ ひらがなを入力	⌘J
カタカナを入力	⌘K
英字を入力	⌘L
半角英字を入力	⌘;



一番上のセレクトバーを記号表にすると、各種の特殊文字、記号が表示されます。真ん中にスクロールバーがありますから、これを下に動かすと、さらに様々な分類が表示されますので、それをクリックして、目的の特殊文字、記号を右のウィンドウに表示させます。



文字を入力したいときは、その記号を反転させ、ダブルクリックします。すると、テキストのアイバーの位置に入力されます。

上図の例では、黒丸が●の様に入力されます。

c. 英文字の入力

メニューバーの日の丸マークを星条旗マークにします。



あるいは、操作パレットのA または A をクリックして、反転させます。

2. ブラインドタイピング

2-1. ブラインドタイピングとはなにか

ブラインドタイピングは、ブラインドタッチ、タッチタイピングとも言われ、キー上の文字を見なくても、どんどんキーがタイプできる技術です。

キーボード上のどのキーをどの指で押すかが決まっていますので、両手の指を全部使って素早くキーを押すことができるように訓練することによって、この技術を修得することができます。

2-2. ブラインドタイピングの必要性

コンピュータ上で文章を作るときは、画面に向かって、どんどん思ったことを入力していきます。その時、キー入力が思うに任せない場合は、キーが何処にあるかを探すたびに思考が中断します。その結果、考えながら入力が出来ないので、非常に効率が悪いことになります。ブラインドタイピングができないと、先に手書きの原稿を作っておいてそれを、清書するというような使い方になってしまいます。

また、ブラインドタイピングで素早くキー入力出来ることは、コンピュータを使いこなす上で非常に重要な要素です。

そこで、みなさんも練習してタッチタイピングを修得するように心がけましょう。

2-3. 練習ソフトウェアの機能と操作

ブラインドタイピングは、キーボード上の基本的な手の配置、それぞれの指がどのキーを押すのかを憶える事が基本です。後は、スムーズに指が動くように訓練する事が必要です。

日本語の入力の仕方は、**ローマ字入力**と**かな入力**がありますが、ローマ字の方が憶えるキーの数が少ない(アルファベット 26 文字)く、英語の入力にも使えるので、初心者はローマ字入力から始めるといいでしょう。かな入力は憶えるキーの数が多い(五十音)のですが、日本語の文章を打ち込むときにキー入力の数が少なくすむという利点があります。

毎日、30 分の練習を 1、2 週間すると、ほぼブラインドタイピングをマスターできます。あとは、忘れないように文章を入力して維持するようにします。

2-4. 練習用のソフトウェアの実行

みなさんのコンピュータには Keyboard Master というブラインドタイピングの練習用ソフトウェアがインストールされています。Keyboard Master フォルダをあげ、以下のアイコンで示される Keyboard Master を起動して、さわってみましょう。



Keyboard Master

終了は、Keyboard Master の指示に従って下さい。

自習時間等を利用して、練習してみましょう。

索引

Keyborad Master.....	10
Simple Text	3
ことえり	5
ソフト、書類の検索方法	3
ブラインドタイピング	10
ランチャー	3
英文字の入力	9
検索メニュー	3
特殊文字、記号の入力	8
文字、文字列の削除	8
文字入力の方法	6